



乗車中、動き出した回送列車 あわや、労災発生か？

5月28日（土曜日）、鳥飼車両基地で大一運輸所訓練担当助役が運転士見習いに帰りの回送列車の発車番線と編成を教えたが、肝心の発車時刻を教えていなかった。その結果、見習い十数人が16号車から乗ろうとしたときに、列車が発車し数名が乗れなかった。一步間違えれば、死傷事故になりかねない事象である！

責任ある立場の助役は1号車（運転士側）から乗車していたらしい。見習い運転士だけにし自分だけ1号車に乗車するのは職務を放棄する行為である。あれほど労災防止を声高に主張する以上、会社は事実を事実として明らかにすべきである。しかし、今に至っても掲示一枚、出ていない！

乗務員が些細なミスでも厳しく注意され掲示で追及されるが管理者なら許されるのか？

早急に、事実関係を明らかにせよ！

また、5月28日は土曜日にもかかわらず事象発生後に飯田指導科長をはじめ他の助役も出勤してきた。

飯田指導科長が自ら見習い運転士に口止め行為があったのと、この事象を誰が聞いてきたのかを助役に報告することなども聞いている。

事象を聞いてきた人の名前を聞いて一体何をするつもりなのか？ 社員どうしを管理させる狙いは見え見えである！

事故隠蔽はゆるさない！